

競輪の場外発売所設置の際には、自転車競技法施行規則に

「位置は、文教上又は保健衛生上著しい支障を来すおそれがない場所であること」とな

っている。許可権者は、競馬が農林水産大臣、競輪が経済産業大臣になると考えられる。

問 計画場所の近隣には、どういった文教施設があるのか。

答 半径1キロメートル以内にある文教施設は、約780メートルにちなし幼稚園、約890メートルに檀原中学校がある。また、1キロメートル以内の医療施設は病院・歯科医院が5件ある。

問 計画されている施設の経緯は。

答 平成28年夏ごろ、ツインゲート檀原に場外馬券場設置の話があると聞いた。9月初旬に、多地区役員が市に來られたときに初めて資料を見た。9月下旬に、事業者が初めて市役所に來られ、現時点での事業概要を聞いた際に、地元の方々への説明会を開催したので了解してほしい旨の話がされたが、既に設置場所の地区で説明会を開催されていたこともあり、拒む理由が見

当たらないと回答した。その後、事業者から連絡はないが、11月の下旬に多地区で説明会が開催された話を聞いたところである。

問 同意が大きな意味を持つと思うが、地元同意の内容や考え方は。また、市長の同意は必須条件か。

答 競馬の場外発売所に係る農林水産大臣の承認には、市長の同意、または設置場所及び近隣地域の町内会の正式な手続を経た町内会長の同意が必要。ただし、町内会長の同意を得ても、市長または市議会が設置に反対の場合は、町内会長の同意は効力を有しない。競輪の場外発売所に係る経済産業大臣の承認には、設置場所の所在する町内会等又は地方自治体の長の同意を得る等の地域社会との調整を十分行ったことを証する書面の提出が求められている。これらの施設を設置する際の市長の同意は恐らく必須条件である。

問 計画場所周辺は、慢性的に交通渋滞が起こり、歩行者も多い。また、周辺に文教施設もある。安全面の保証は管轄警察だけが行うのか。市は

どのような立場か。

答 安全面の対策等は、事業者が地元自治会やPTAなど関係団体への十分な説明を行い、管轄警察に意見をもらい、協議を重ねることで双方が納得する必要がある。決して管轄警察だけに保証を頼るものではない。市も、交通上、防犯上、環境上などさまざまな問題があると認識している。一部の周辺道路は通学路にも利用されており、施設が設けられることで、国道24号線の一層の混雑も懸念される。市は、管轄警察だけに各種の課題等を委ねるのではなく、関係する機関や関係部署とも連携を図り、的確かつ公正な対応をする立場にある。

問 主催者は民間事業者であるが、許可権者の同意権は市長にある。場外発売所の設置計画に対する市の見解は。

答 場外発売所が設置されることで、売上代金の一部が市の歳入となることも考えられ、本市にもメリットはあると思うが、地元住民が不安に思われているままで今回の事業計画を進めるわけにはいかない。教育委員からも、当該施設を新たに設けることは好ましく

ないとの意見もでている。また、教育委員会としては、子どもたちの安全確保が最重要であり、周辺にある通学路が施設利用者の通り道と一部重複し、安全確保にとって不安が払拭されない状況下では賛成できない。

問 場外発売所の設置計画に対する市長の見解は。

答 地元の方々の意向も大事だが、議会の意見も当然聞かなければならない。説明に來られた際に、本市として好ましくない、ふさわしくない施設であると伝えた。365日、1日に何百人もの人が施設に集まることを考えると、ふさわしくない施設だと考えている。

問 来年度は、第3次総合計画後期基本計画の最終年度になる。毎年、行政評価結果一覧表を公表し、今後の施策の評価、優先度を示しているが、予算編成の考えは。

答 平成29年度は、新3大事業に重点を置いた予算編成を行う。全職員が共通の認識のもと、事業を遂行するために、予算説明会で編成方針を説明した。行政評価と連動している総合計画実施計画を活用して、新年度の新規事業や内容を拡充する予定の事業は、重要度を判定し、上位の判定結果を得た事業は優先的に予算計上してやっていきたい。

問 檀原神宮前駅を中心とする事業の計画・構想は。また、どれだけ費用を費やすのか。

答 檀原神宮前駅も、県との協定に含まれており、八木駅から檀原神宮までの都市軸を中心に考える中で新3大事業



ツインゲート檀原

一般質問

竹森 衛
(日本共産党)

来年度の予算編成方針

問 来年度は、第3次総合計画後期基本計画の最終年度になる。毎年、行政評価結果一覧表を公表し、今後の施策の評価、優先度を示しているが、予算編成の考えは。

答 平成29年度は、新3大事業に重点を置いた予算編成を行う。全職員が共通の認識のもと、事業を遂行するために、予算説明会で編成方針を説明した。行政評価と連動している総合計画実施計画を活用して、新年度の新規事業や内容を拡充する予定の事業は、重要度を判定し、上位の判定結果を得た事業は優先的に予算計上してやっていきたい。

問 檀原神宮前駅を中心とする事業の計画・構想は。また、どれだけ費用を費やすのか。

答 檀原神宮前駅も、県との協定に含まれており、八木駅から檀原神宮までの都市軸を中心に考える中で新3大事業